



子どもたち 先生方の笑顔のために

壁面に掲示してご活用ください

共に歩まん

令和5年11月15日発行

第19号

中信教育事務所

ご意見はこちら→  ←過去の「共に歩まん」はこちら

つな
げる

シリーズⅢ 「教育課程研究協議会特集」④ 理科、技術・家庭

【理科】 松本市立芝沢小学校（第4学年）

単元名：電流のはたらき

【目指す子ども像】

- 自ら考えをもち、学ぶ力を高める子ども
- 命を守り、体づくりに取り組む子ども
- 友とともに心を磨き、行動する子ども



目指す子どもと出会うために

1. 主体的に学ぶ授業づくり
→子どもの気付きや問い、願いを基にした学習問題や学習課題の設定
2. 思考力を高める授業づくり
→ICTの活用により、友の考えを共有、参照しながら自分の考えを広げ深める思考場面の設定

〈本時の子どもの育ち〉

車をもっと速く走らせたいという願いをもち、電池の数を2個に増やしたときのつなぎ方について、輪の形にすることを意識して一人ひとりが考えました。T児は、ICTで共有した自分とは異なる友のつなぎ方に驚きをもち、友の考えも試すことで、電池を直列につなぐとモーターの回転が速くなること、並列につないでも回転はほとんど変わらないことを見いだしました。

【技術・家庭 技術分野】 松本市立丸ノ内中学校（第3学年）

題材名：世の中をちょっとよくするロボットをつくろう！ AI編

【目指す子ども像】

- 自治の精神 - 豊かで心たくましく自他ともによりよく生きよう -
- 律する心 磨く心 思いやる心



目指す子どもと出会うために

1. 3年間を見通した題材展開の工夫
2. 生徒の発想を3Dプリンタや工作機械等で表現できる学習環境
3. AI画像認識の技術を活用し、Society5.0で実現する社会の創造を目指す
4. デジタルポートフォリオによる学習履歴の蓄積
5. 個々の追究から他者と練り上げる学習形態

〈本時の子どもの育ち〉

幼児の泣き顔をAIが認識してあやすロボットについて、A生は過去のデータを見返して修正方法に気付き、B生、C生、D生に伝え、既習のプログラムを活用することができました。また、AI画像認識等の情報の技術にあるメリットだけでなく、他のグループの発表を聞くことでデメリットについても気付き、よりよい情報技術のあり方について考える姿につながりました。